

寺田駅周辺まちづくり構想の提言

- ハッとして ホッとする 好きなまちの実現に向けて -

平成18年3月

寺田駅前まちづくり協議会

寺田駅周辺まちづくり構想の提言

- 目 次 -

1 . 提言書の趣旨	1
2 . まちづくりの提言にいたる経緯	1
3 . まちづくり構想ができるまでの取り組み	2
4 . 市による寺田駅周辺の位置づけ	3
5 . 寺田駅西口周辺の現状とまちづくりの望まれる方向	4
6 . 構想検討段階のアンケート調査で出された意見	9
7 . 寺田駅周辺における将来のまちの骨格像	12
8 . 寺田駅周辺のまちづくりのテーマとゾーン別の取り組み方針	13
9 . ゾーンごとの必要な機能と取り組み内容	16
10 . 寺田駅前を中心としたまちづくりの整備イメージ	26
11 . 提言内容の実現に向けて	28

1. 提言書の趣旨

私たち「寺田駅前まちづくり協議会」は、近鉄寺田駅前において城陽市の玄関口としてふさわしい環境づくりに取り組んでまいりました。この度、幾多のプロセスを経て、ようやく住民主体の「寺田駅周辺まちづくり構想」をまとめることができましたので、まちづくりの促進に向けて提言いたします。今後、この提言書を踏まえ、基盤整備をはじめ寺田駅周辺の活性化に向けた施策を推進していただきたく切望します。

2. まちづくりの提言にいたる経緯

以前より寺田駅前にていろいろ取り組まれてきましたまちづくり活動を引き継いで、当まちづくり協議会は、月1回のペースで会合を重ね、より良いまちづくりについて熱心に意見を交わすとともに、下表に示すような活動を行いながら、ようやくこの提言書をまとめるに至った次第です。

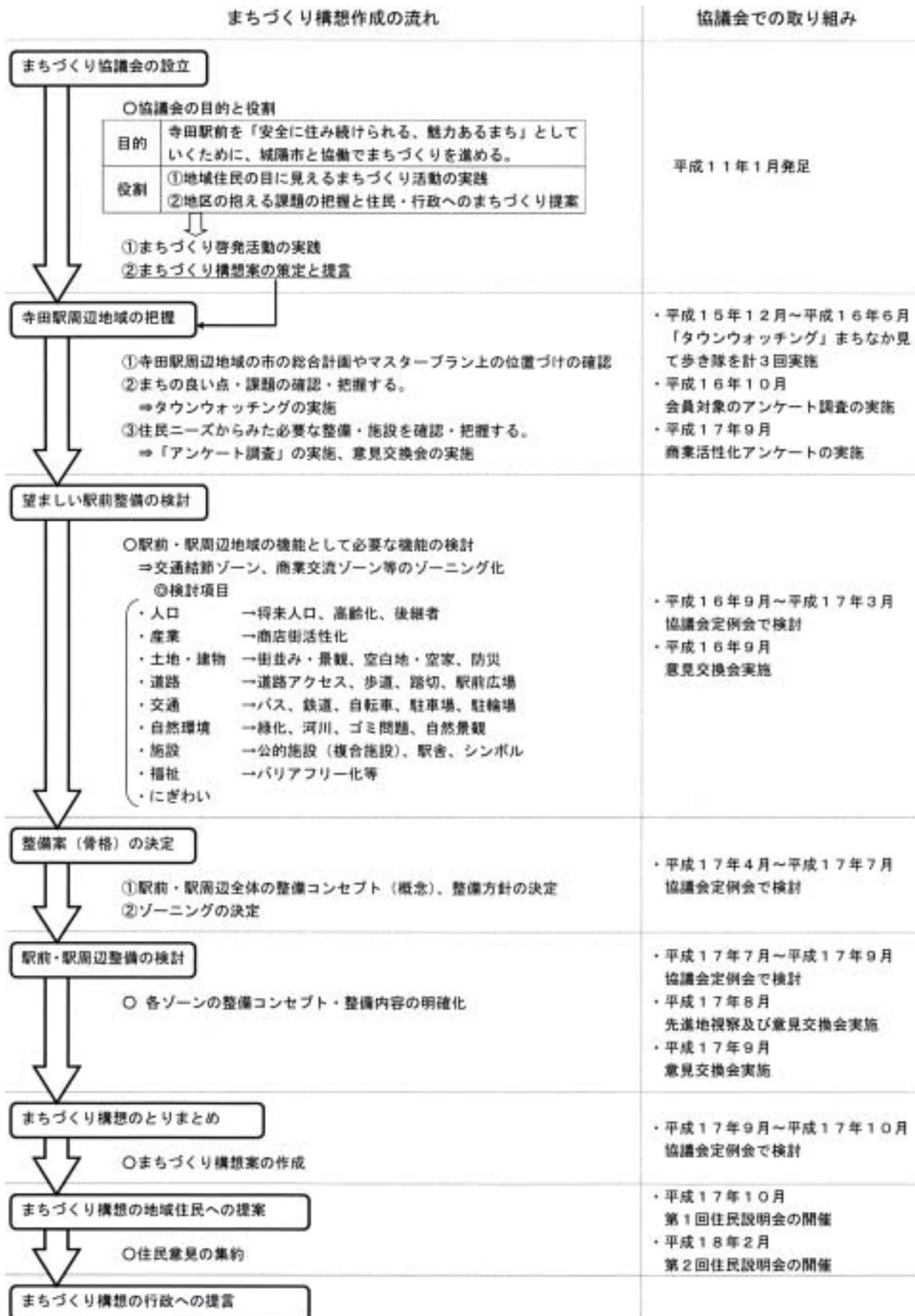
「寺田駅前まちづくり協議会」の主な活動状況

<ul style="list-style-type: none"> ・平成 11 年 1 月：寺田駅前まちづくり協議会発足 ・平成 15 年 10 月：まちづくり協議会会則の改定 <ul style="list-style-type: none"> - 活動の目的として、「安全に住み続けられる、魅力あるまち」としていくために、市と協働でまちづくりを進めることを明記 ・月 1 回のペースで、役員会および定例会を実施 まちづくり構想（プラン）について議論・検討を重ねる ・3ヶ月に1回のペースで「美化活動」を実施

+

平成 14 年	12 月	寺田駅前「イルミネーション」を点灯開始（第 1 回）
平成 15 年	8 月	寺田西地区振興会「夏まつり」に参加し、紙芝居を上演
	12 月	第 1 回「タウンウォッチング」まちなか見て歩き隊を開始
	"	第 2 回「イルミネーション」を寺田駅前にて1ヶ月間点灯
平成 16 年	1 月	第 2 回「タウンウォッチング」まちなか見て歩き隊を実施
	6 月	第 3 回「タウンウォッチング」まちなか見て歩き隊を実施
	8 月	寺田西地区振興会「夏まつり」に参加し、紙芝居を上演
	9 月	「まちづくり意見交換会」を開催
	10 月	協議会会員にまちづくりの「アンケート調査」を実施
	12 月	第 3 回「イルミネーション」を寺田駅前にて1ヶ月間点灯
平成 17 年	2 月	寺田駅前に「まちづくり啓発看板」を設置
	8 月	寺田西地区振興会「夏まつり」に参加し、紙芝居を上演
	"	先進事例見学会を実施 (近鉄若江岩田駅周辺地区、JR 祝園駅周辺地区)
	9 月	「まちづくり意見交換会」を開催
	"	「寺田駅周辺商業の活性化に関するアンケート調査」を実施
	10 月	「寺田駅周辺まちづくり構想案第 1 回住民説明会」の開催
	11 月	「寺田駅前ほっこりゾーン」が完成
平成 18 年	2 月	「寺田駅周辺まちづくり構想案第 2 回住民説明会」の開催

3. まちづくり構想ができるまでの取り組み



4 . 市による寺田駅周辺の位置づけ

城陽市総合計画では

シビックゾーン	市役所や文化パーク城陽、寺田駅・城陽駅などの公共・公益施設を中心に商業施設などを整備し、市民の集まる中心地区として、また城陽市の顔として整備する
---------	--

城陽市都市計画マスタープランでは

中心商業・業務ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域商業中心地区として、面的な都市基盤施設の整備と併せて、広域及び本市の中心商業・業務機能の形成を図る ・ 公共・公益施設との有機的ネットワークの形成を図り、シビックゾーンの機能的充実を図る
------------	--

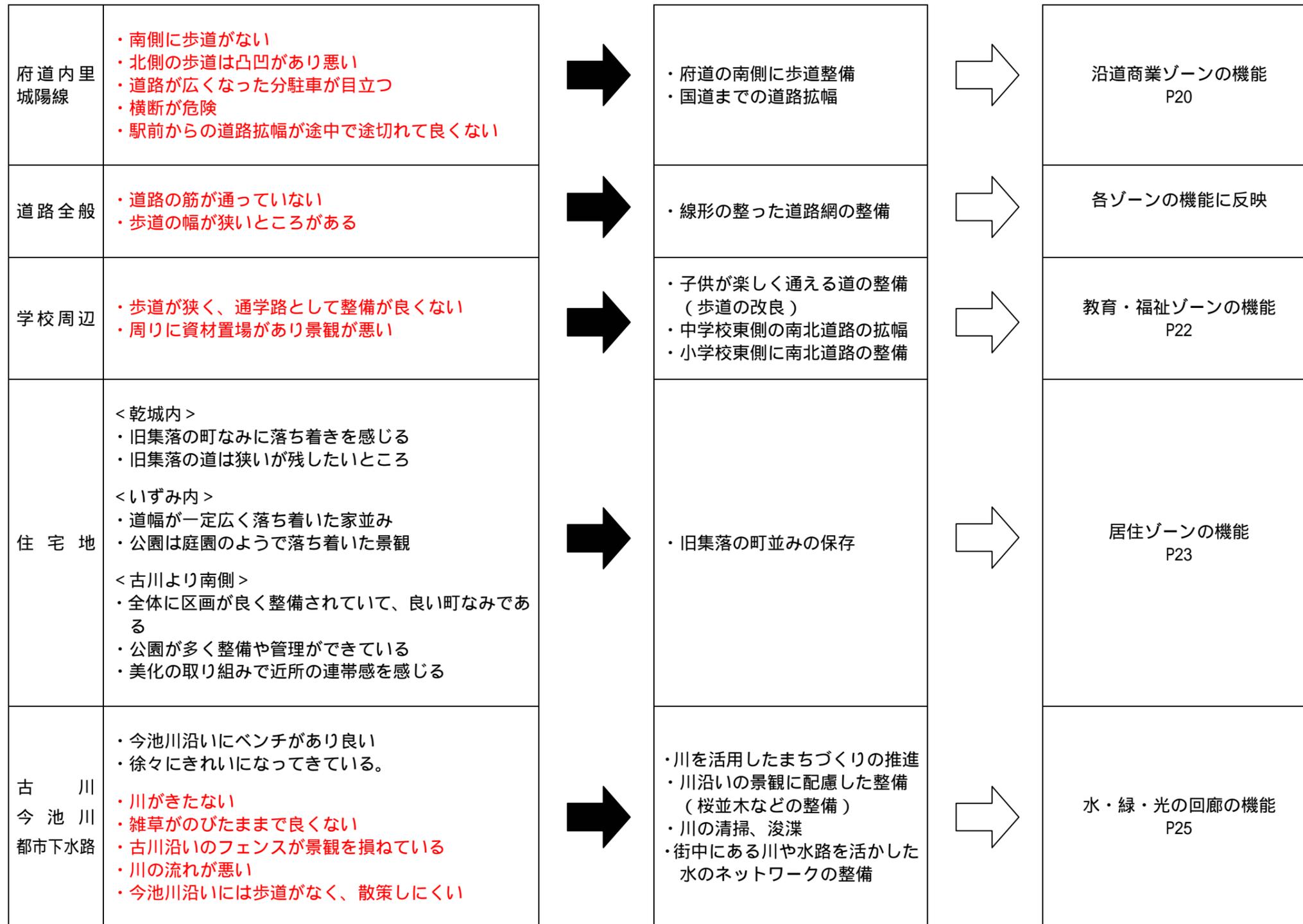


5. 寺田駅西口周辺の現状とまちづくりの望まれる方向

協議会主催でこれまで実施したタウンウォッチング（まちなか見て歩き隊）において出された「わがまち」に関する意見は、次のとおりです。
一部投書箱に寄せられた意見も含んでいます。

タウンウォッチング等で出された主な意見

場所	良いところと問題点・課題	望まれる方向	まちづくり構想での位置づけ
寺田駅前	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションが良い ・駅前に自転車駐輪場がある。 ・駅前らしくない ・車の停車スペースがない ・駐車場がない ・駅周辺の案内が少なくて不便 ・駅南側の空地が使われていない ・文化パーク城陽前の並木から歩道一帯にかけて緑が美しく整備されているが、駅前に緑がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の整備 ・空地の有効利用 ・駅前から文化パーク城陽まで緑のネットワークの形成 	駅前交通結節ゾーンの機能 P16
鉄道・踏切	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の西側と東側のアクセスが不便 <久津川6号踏切> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切が狭く蒲鉾状で高低差がある ・車椅子が通行しにくい <久津川7号踏切> <ul style="list-style-type: none"> ・車が1台しか通行できない ・車横断中は人が通れず危険 ・踏切に至る西側道路が狭く危険 <寺田1号踏切> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切が狭い、老人が危ない ・車椅子で踏切をわたるのは危険 ・車の混雑がみられる ・踏切東で歩道が無い所を横断し危険 <寺田3号踏切> <ul style="list-style-type: none"> ・車の横断（東西）が多く危ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・連立高架の整備 ・早急に歩道の整備 ・踏切の機能改善 ・西側道路の拡幅 ・車の通行ができるよう踏切幅の拡幅 ・鉄道東西の安全で自由な往来の確保 	
商店街等	<ul style="list-style-type: none"> ・道路幅が狭い ・側溝の悪さが目立つ ・電柱の景観が良くない ・駅前に賑わいが無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化 	
場所	良いところと問題点・課題	望まれる方向	まちづくり構想での位置づけ





近鉄寺田駅周辺を歩きまちづくりの課題を探る住民ら(城陽市寺田)

近鉄寺田駅周辺

街の課題をチェック

住民ら 危険箇所や景観など

近鉄寺田駅前のまちづくりを探るタウンウォッチング「まちなか見て歩き隊」が二十日、城陽市ど街の課題を調査して歩

いた。近鉄寺田駅前のまちづくりの同駅周辺で行われた。住民らは、踏切などの危険箇所や川沿いの景観な

「まちなか見て歩き隊」の主催。駅周辺整備の定しようとして、ンケート調査か、駅前でのシヨン設置やコスモスを植樹動にも取り組んだ。この日は、住民や市役所、市民交流センター、西小学校、寺田西小学校

城南新報でタウンウォッチングが紹介されました(平成 16 年 1 月 27 日)

よりよい寺田駅前の姿は…

観光客にも焦点をあてる

まちづくり協 タウンウォッチング開催

城陽市中心部にある近鉄寺田駅前の将来像を模索している市民団体、寺田駅前まちづくり協議会(満田忠雄会長、18人)は25日、タウンウォッチングを

開催し、参加者が地域の良いところ、悪いところをつぶさにチェックした。

昨年12月に実施した第1回目に続く取り組み。前回は寺田駅西口から徒歩30秒のところにある市民交流センター

南側を中心に戻ったが、今回は北側地域一帯で行った。

ルートは交流センターを出発し、寺田駅の北側踏切を通過して旧トツブセンター前を通過、再び線路を渡り、寺田

西保育園、老人福祉センター、橋幸苑、西城隣中学校、寺田西小学校

と歩いて、西ノロ地域の住宅地を経て、交流センターに帰ってくるというもの。

雪の降る中、約1時間かけて「日常生活を営むうえでの危険」

「観光客を迎えるうえでどうか」の2点について地域の実情を調査した。交流センターで開かれたワークシヨップでは「田んぼにガードレールがない」「側溝に蓋がない」「街灯が少ない」「寺田西保育園がみずばらしすぎ

る」「急に道幅がせまくなった」など、歩道がなくなったりと全体に連続性がない」などと問題点を指摘。その一方でマツブセンターの建物の有効活用▽平日の調査もすべき▽高齢者施設や学校の周り

だけでも歩道を整備すべき▽高齢者用にコミュニティバスの導入を▽



【街のいい所、悪い所をつぶさにチェック】

2車線の幅がある道路を1.5車線にすれば、必然的に自動車のスピードが落ち、歩行者の安全性が確保できる▽トツブセンター前にある踏切の幅を広げて自動車が行き来しやすければ、南側の踏切の交通量が減少するのでは▽旧集落は町並みが良く、保存地区にすべき▽観光客を呼ぶなら公衆トイレを一つでも整備すべ

タウンウォッチング～まちなか見て歩き隊～の調査結果は、毎回、『まちづくりニュース』として発行し、会員による各戸配布により住民の皆さんにお伝えしました

寺田駅前まちづくりニュース

平成16年2月号

【発行】寺田駅前まちづくり協議会

第2回まちなか見て歩き隊を行いました！

前回より増え22名が参加！今後も続けますので、参加ください。



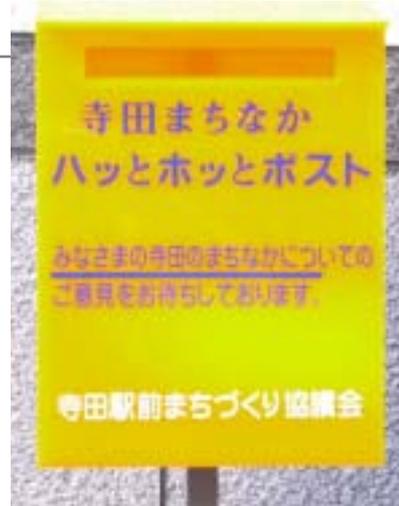
1月25日の日曜日、雪が舞うなか、前回より多い参加者22名が、寺田駅の北西周辺を話し合いながら楽しく見て回りました。地図を持ち、「良いところ」や「悪いところ」を確認してきました。

歩いた後、各人が発表し、その内容をまとめたものが、中面の図です。ぜひご覧ください。

<皆さんの意見も募集しています！>

添付しました用紙に皆さんのご意見をご記入いただき、中面の図中に●印した場所にある投書箱にいつでも投書してください。（4箇所）

- ①寺田駅西口すぐの植栽のある所
- ②十両前 ③寿屋酒店前
- ③ふたば和菓子店前



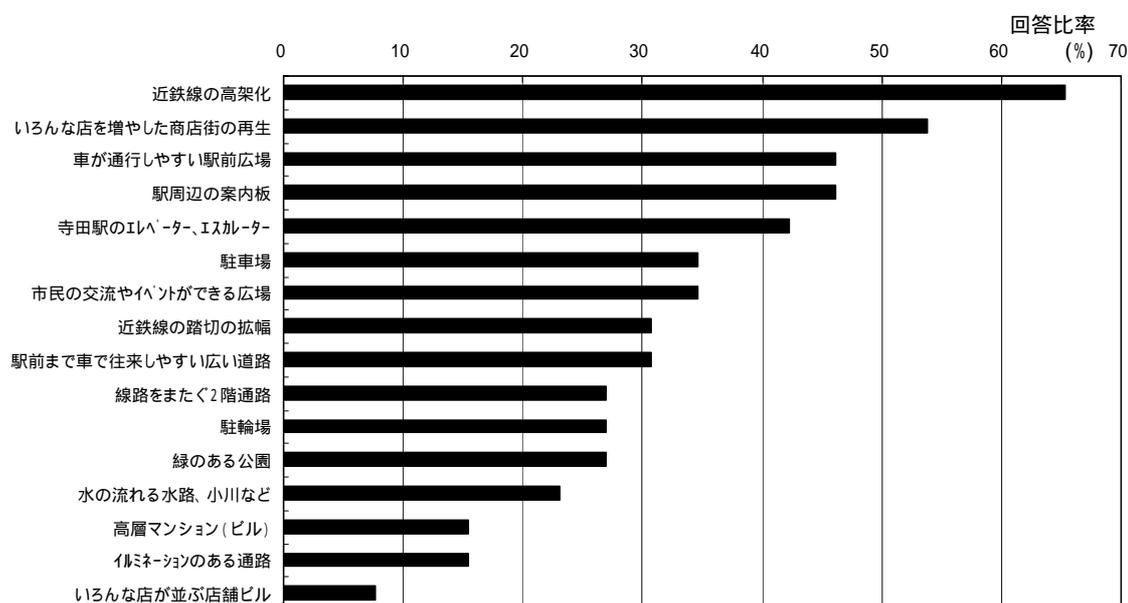
6. 構想検討段階のアンケート調査で出された意見

1) まちづくりに関する協議会会員の当初意見(平成16年10月時点)

まちづくり構想の検討を進めていくにあたり、平成16年10月に協議会会員の当初の思いを把握するため、「どのようなまちにしたいか」「駅前にどのような整備を望むか」などを聞くアンケート調査を実施しました。その当時の主な意見は以下のとおりです。

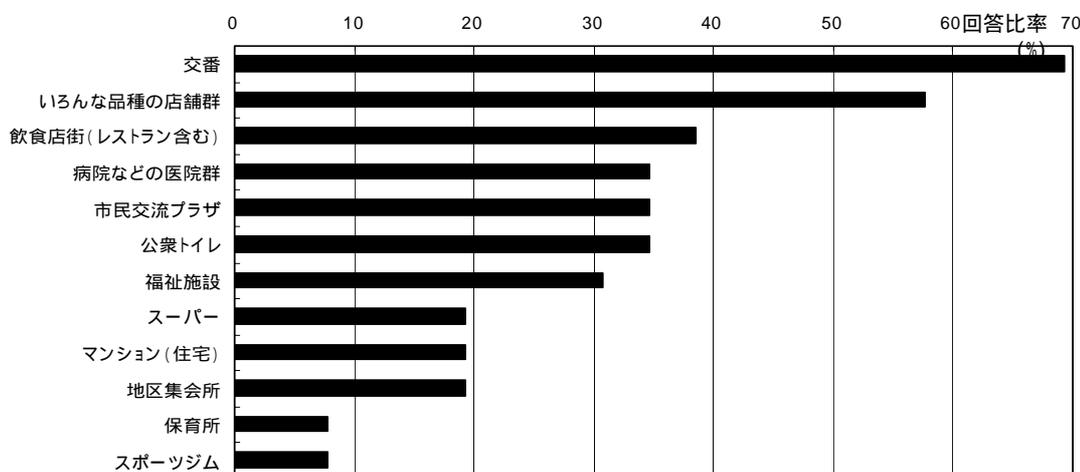
寺田駅前に望む整備内容

最も希望が多いのは「近鉄線の高架化」であり、次いで「商店街の再生」、「駅前広場」、「案内板」が多く望まれています。「駅のエレベーター、エスカレーターの設置」も上から5番目にあげられています。



寺田駅前にほしい施設(建物・店舗等)

最も希望が多い施設は「交番」であり、次いで「いろんな店舗群」が特に多く、飲食店も含めて多様な店舗の拡充が望まれています。



2) 「寺田駅周辺商業の活性化に関するアンケート調査」について

寺田駅周辺で商売を営む商業者の方に対して、活性化に向けてのアンケート調査を実施し、以下のことについて意見を聞きました。

(平成 17 年 9 月 20 日個別配布～10 月 10 日まで回収)

現在の寺田駅周辺商業の現状や問題点

今後、望むことや必要な整備など

この結果も取り入れて、最終的に『寺田駅周辺まちづくり構想案』をまとめます。

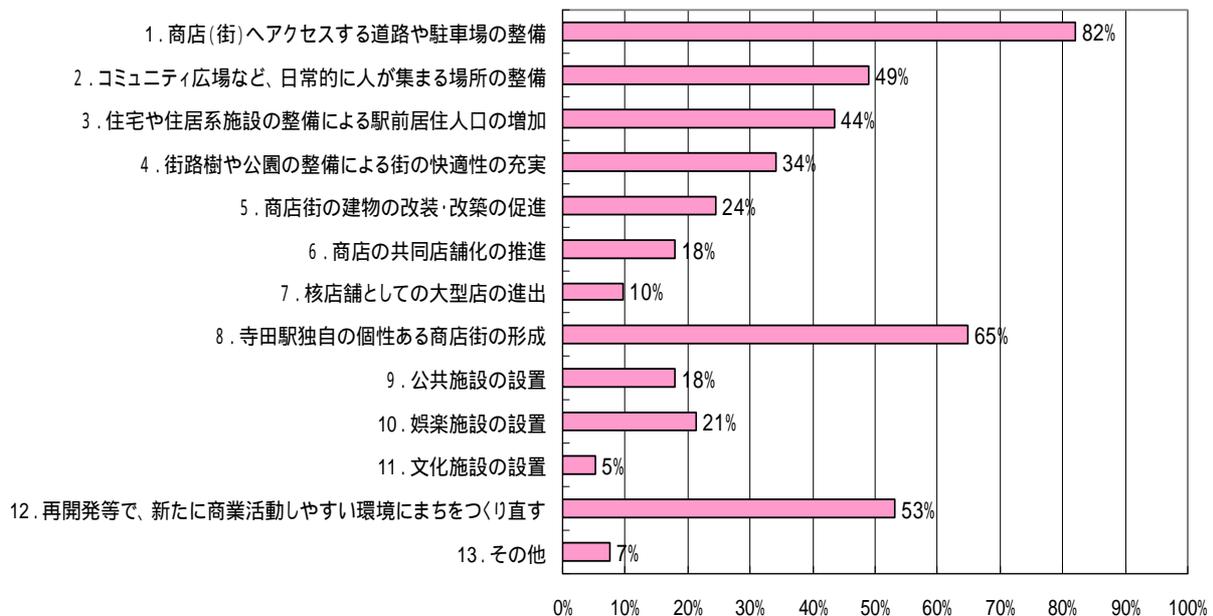
アンケート調査票の配布・回答状況

	配布数	回答者数	回答率
駅西地区	1 4 8	7 9	5 3 %
駅東地区	3 8	2 3	6 1 %
全体	1 8 6	1 0 2	5 5 %

にぎわいづくりに必要なこと(5つ選択)

にぎわいづくりに必要なこととしては、「商店(街)へアクセスする道路や駐車場の整備」が 82%と最も高く、次いで「寺田駅独自の個性ある商店街の形成」が 65%、「再開発等で、新たに商業活動しやすい環境にまちをつくり直す」が 53%と5割を超えています。

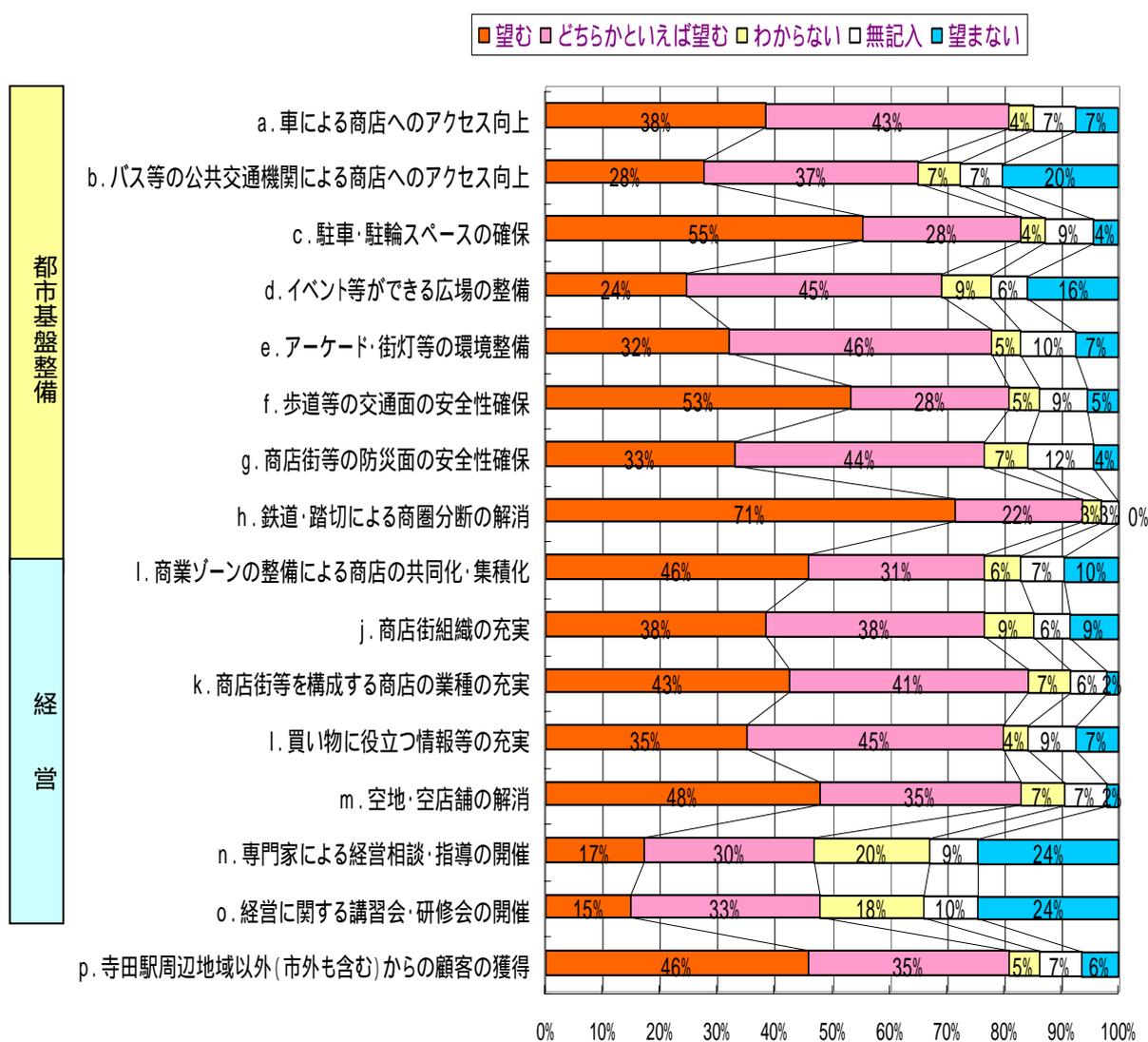
続いて、「コミュニティ広場など、日常的に人が集まる場所の整備」が 49%、「住宅や住居系施設の整備による駅前居住人口の増加」が 44%、「街路樹や公園の整備による街の快適性の充実」(34%)となっています。



商業を続けていくうえで望むこと

都市基盤整備では、特に「鉄道・踏切による商圈の分断の解消」への要望が高く出ています。次いで「駐車・駐輪スペースの確保」や「歩道等の交通面の安全性確保」が高く望まれています。

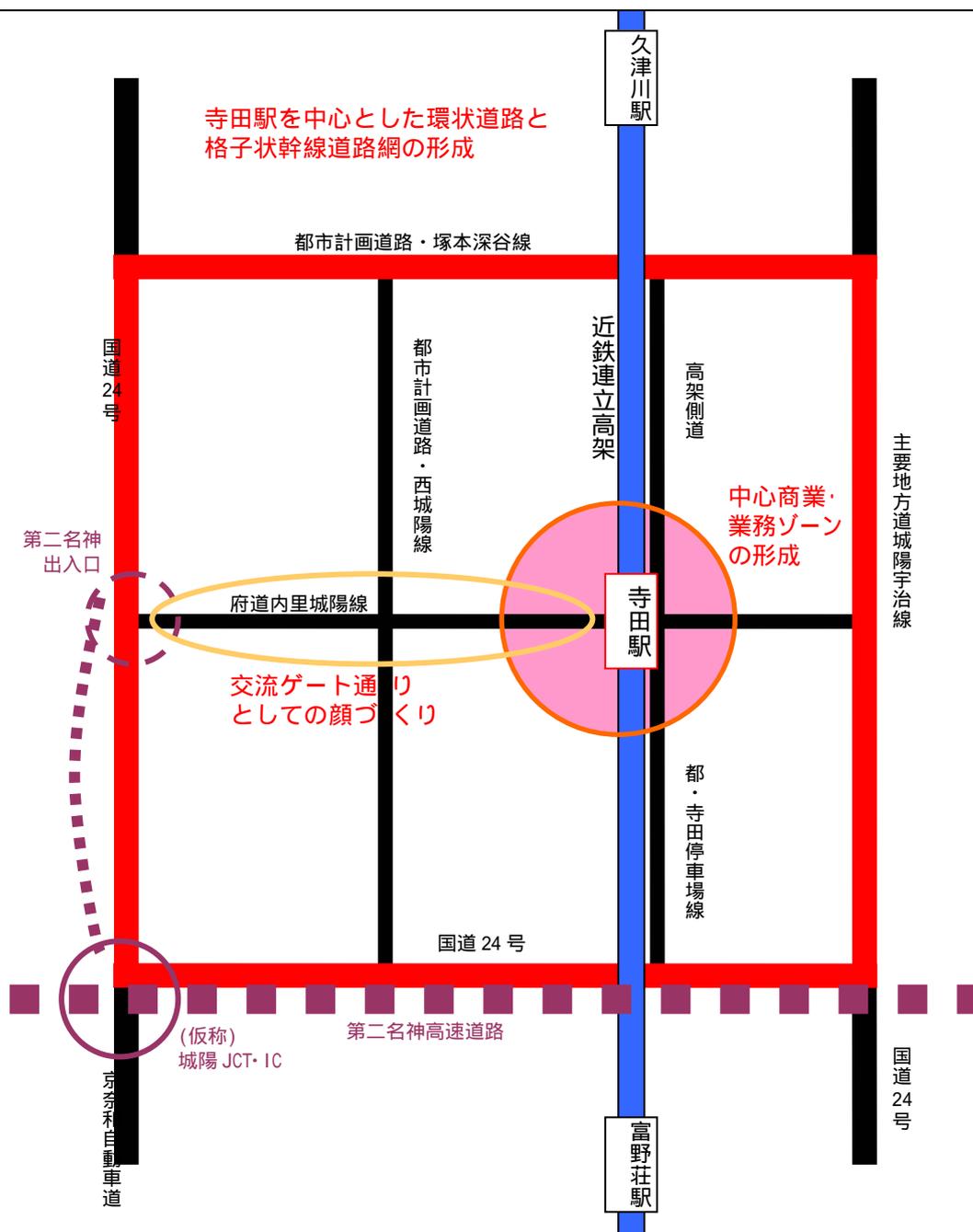
経営面では、「商店の業種の充実」や「空地・空店舗の解消」が高く望まれています。



7. 寺田駅周辺における将来のまちの骨格像

将来の近鉄連立高架等の実現を見すえながら寺田駅周辺をみると、まちの将来の骨格像は以下のように考えられます。

<骨格となるまちづくりの方針>
 寺田駅を中心とした環状道路と格子状幹線道路網の形成
 寺田駅を中心とした中心商業・業務ゾーンの形成
 交流ゲート通りとしての顔づくり



8. 寺田駅周辺のまちづくりのテーマとゾーン別の取り組み方針

1) まちづくりのテーマ

寺田駅周辺においてよりよいまちづくりを進めるにあたり、今後めざすべき方向としてのテーマ（将来イメージ）を次のように考えます。

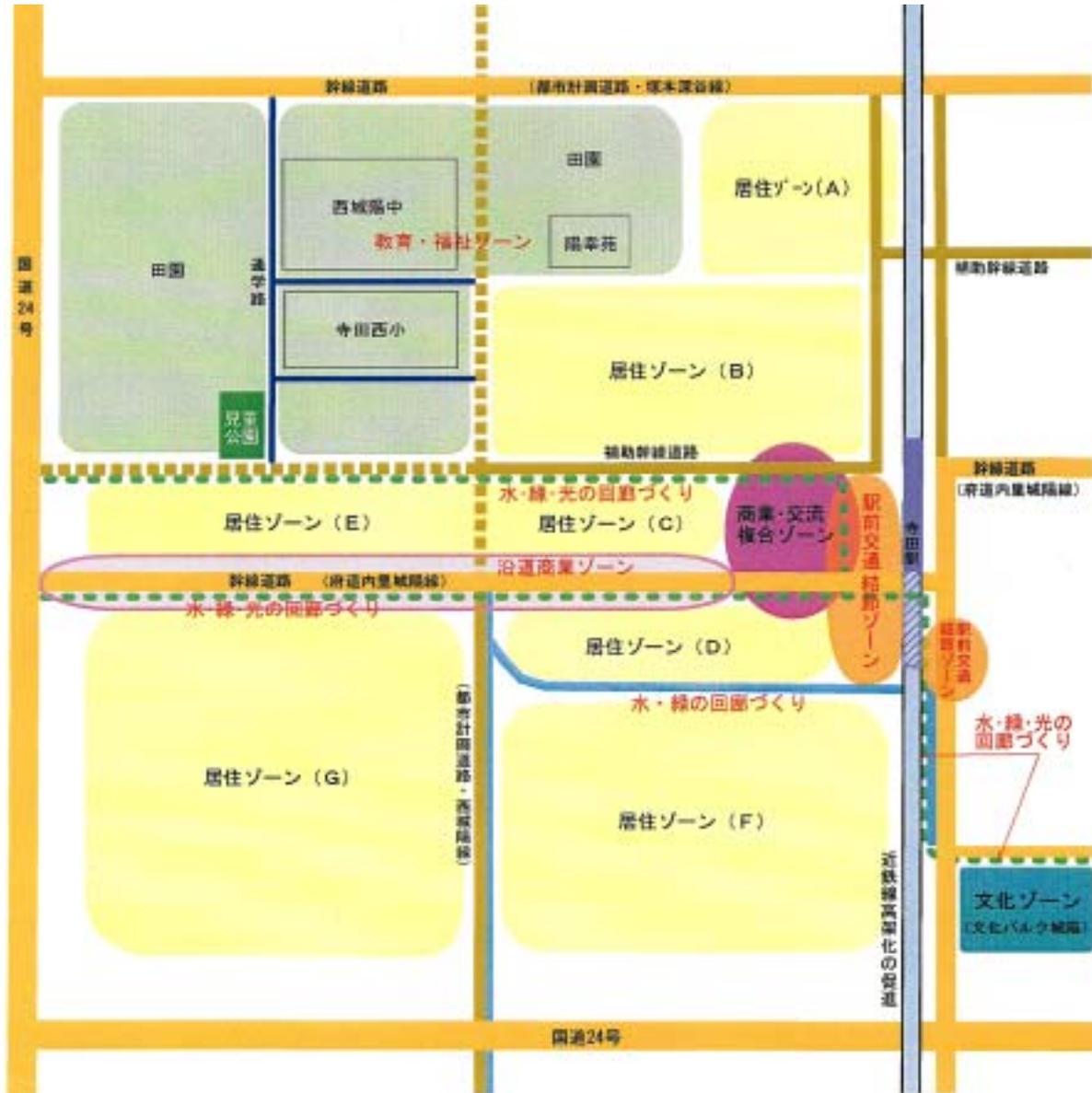
まちづくりのメインテーマ
ハツとして ホツとする 好きなまち

サブテーマ
<p>水・緑・光にあふれた“にぎわいのある”まちづくり</p> <p>小川が流れ、並木や花壇等が連なり、イルミネーション等の光にあふれるなかで、子供から老人までいるんな人々が集い、交流の盛んな“にぎわいのある”まちづくりを望みます。</p>
<p>暮らしやすく住み続けたい“ホツとする”まちづくり</p> <p>子供から老人まで皆が生活しやすく、ずっと住み続けたい、安全で安心な“ほつとする”まちづくりを望みます。</p>
<p>交流のもてなしの“顔となる”まちづくり</p> <p>来街者を歓迎するとともにこのまちを訪れる人々をもてなし交流が活発に行われるよう、駅前をはじめとした「表門通り」としての“顔となる”まちづくりを望みます。</p>
<p>今ある“寺田の資源を活かした”まちづくり</p> <p>駅や文化パルク城陽や豊かな水、さらには風情のある旧村の町並みは、まちづくりを考えるうえで寺田の大切な資源であり、それらを十分に活かしたまちづくりを望みます。</p>

2) まちづくりのゾーニング

前述のテーマをもとに、寺田駅周辺において「どのような取り組みや整備が望ましいか」、それを要素別の「ゾーニング」で考えると、次のようになります。

<まちづくりのゾーニング図>



3) ゾーン別の取り組み方針

左図に示すゾーンごとに望ましい取り組み方針を考えると、以下のようになります。

ゾーン名	ゾーンの取り組み方針
駅前交通結節ゾーン	人と車が安全に行き交い、多様な駅前の往来（アクセス）がスムーズに行える、快適な駅前づくりを行う 水と緑にあふれ、うるおいと輝きのある駅前づくりを行う
商業・交流複合ゾーン	何度でも来たくなる、“買う・味わう・遊ぶ・学ぶ・住むなど” いろんな施設が揃いふれあいの盛んな「にぎわい拠点」づくりを行う 四季を感じ活気に満ちた、魅力ある駅前の「顔」づくりを行う
沿道商業ゾーン	来街者を気持ちよく迎える表門として、美しいゲート通り（プロムナード）の整備と景観づくりを行う 買い物しやすく、歩きたくなる快適な商業環境づくりを行う
教育・福祉ゾーン	教育・文化にふれる、集い憩い空間を確保する
居住ゾーン	暮らしやすく、住み続けたい、“ほっとする”まちづくりを進める 安全で通りやすい道路の整備を行う 快適でうるおいのある住環境づくりを行うとともに、旧村などの由緒ある町並みを守る
水・緑・光の回廊	川を活かし並木を増やして、歩いて楽しい「水と緑にあふれ光輝く回廊」のネットワークづくりを行う 交流の玄関通りとしても印象づける、魅力あふれる回廊づくりを行う

9. ゾーンごとの必要な機能と取り組み内容

先のゾーンごとに、それぞれの取り組み方針を踏まえながら「必要な機能」と「取り組み内容」を考えると、以下のようになります。なお、具体的な取り組み内容については、特に優先的な取り組みが必要なものを示しています。

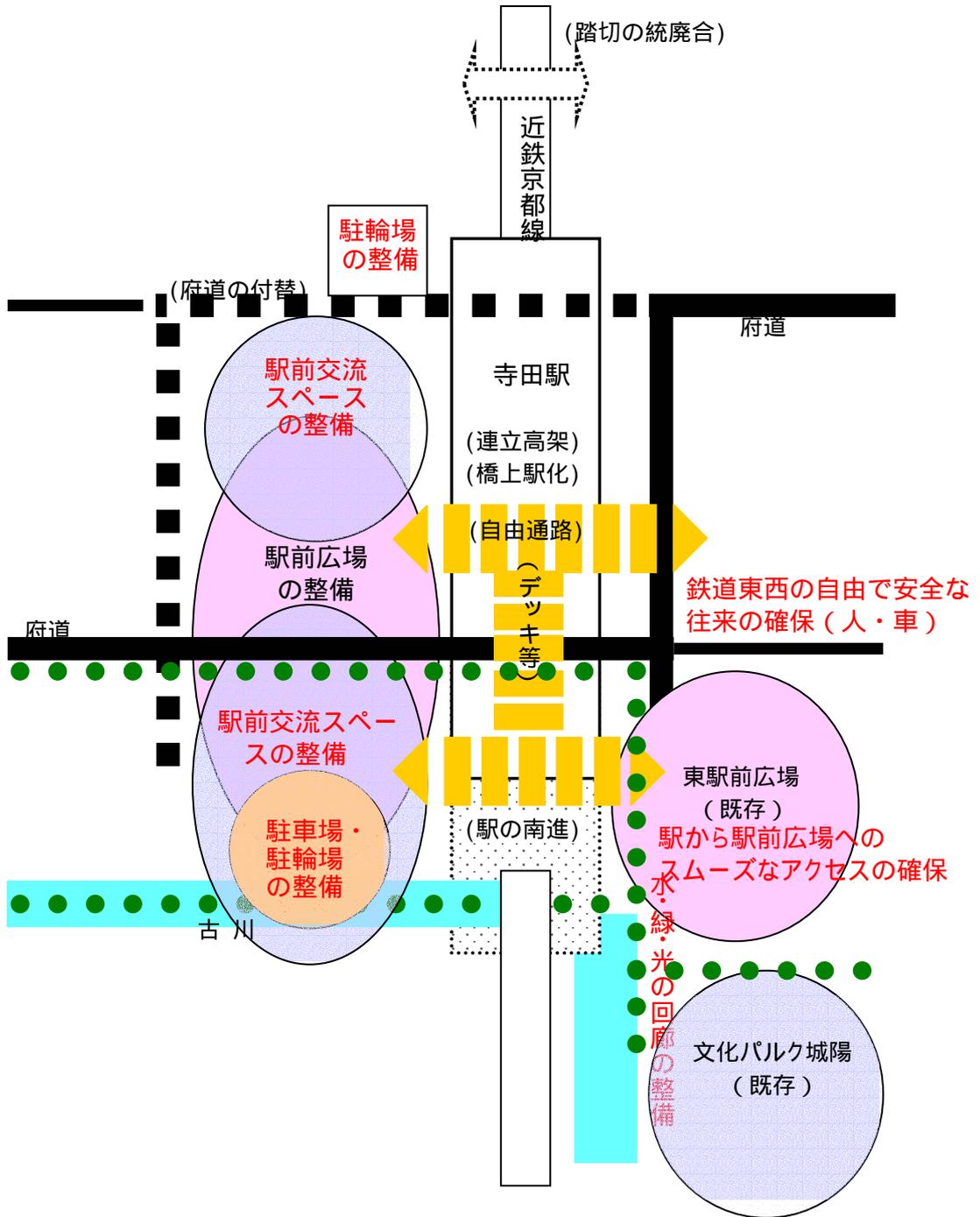
1) 駅前交通結節ゾーン

ゾーンの取り組み方針	人と車が安全に行き交い、多様な駅前の往来（アクセス）がスムーズに行える、快適な駅前づくりを行う 水と緑にあふれ、うるおいと輝きのある駅前づくりを行う
------------	---

「必要な機能」と「取り組み内容」について

必要な機能（役割）	具体的な取り組み内容	具体的な取り組み内容を実現するために検討が必要な事項
駅から駅前広場へのスムーズなアクセスの確保	駅前広場の整備 <西駅前広場について> 新設駅前広場の整備 ・ロータリーの整備 ・停車スペースの整備 ・タクシー乗降場の整備 ・バス乗降場の整備 <東駅前広場については> ・駅の南側への延伸整備 ・駅舎からのデッキの整備	用地の確保 適正な配置 府道内里城陽線の付替 既存施設との連続性の確保
鉄道東西の安全で自由な往来の確保（人、車）	鉄道の連立高架 橋上駅舎化 自由通路の整備 （地下通路または橋上通路） 自由通路と連結した建物整備 駅舎のバリアフリー化 （エレベーター・エスカレーター等の整備） 踏切の拡幅	踏切の統廃合
駐車・駐輪スペースの確保	駐車場の整備 駐輪場の整備	駅利用者以外の利用者向け台数の確保
駅前交流スペースの確保	イベント広場（スペース）の整備 交流施設の整備 案内板の設置 交番の設置	適正な配置
水・緑・光にふれあう環境づくり	公園の整備 並木による緑の回廊整備 小川の復元整備 イルミネーション通りの整備	

< 駅前交通結節ゾーンの模式図 >



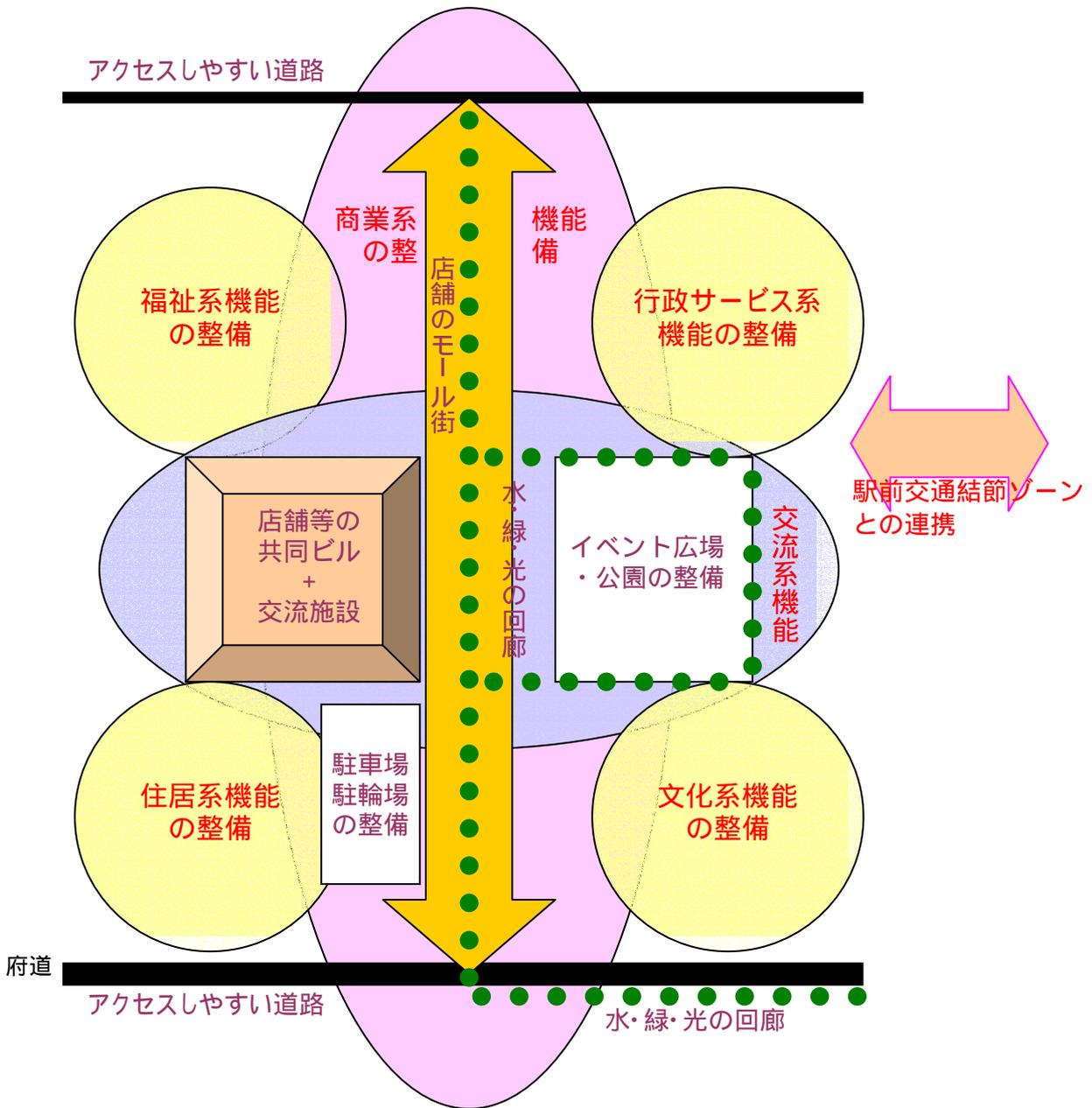
2) 商業・交流複合ゾーン

ゾーンの取り組み方針	何度でも来たくなる、“買う・味わう・遊ぶ・学ぶ・住むなど” いろんな施設が揃いふれあいの盛んな「にぎわい拠点」づくりを行う 四季を感じ活気に満ちた、魅力ある駅前の「顔」づくりを行う
------------	---

「必要な機能」と「取り組み内容」について

必要な機能（役割）	具体的な取り組み内容	具体的な取り組み内容を実現するために検討が必要な事項		
<p>暮らしやすく、にぎわいのある駅前の拠点づくり</p> <p>商業系機能 交流系機能 福祉系機能 文化系機能 行政サービス機能 住居系機能</p>	<p>< 商業系 > モール街（平面集合） 店舗等の共同ビル化（立体集合）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">構成内容</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー ・飲食店群 ・事務所 ・専門店群 ・各種医院群 ・温泉 </td> </tr> </table> <p>駐車場・駐輪場の整備 アクセス道路の整備</p>	構成内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー ・飲食店群 ・事務所 ・専門店群 ・各種医院群 ・温泉 	<p>< 全体 > 駅前交通結節ゾーンとの連携</p> <p>各機能及び施設の集約化</p> <p>< 商業系 > 個性ある商店街の形成 商店同士の連携強化 商業活性化に対する支援</p> <p>< 福祉系 > < 文化系 > 既存施設の補完機能としての役割を検討</p>
	構成内容			
	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー ・飲食店群 ・事務所 ・専門店群 ・各種医院群 ・温泉 			
	<p>< 交流系 > 地区集会所の整備 交流施設の整備 ・会議室、ギャラリーなど イベント広場の整備 公園 小川 並木・植栽 イルミネーション</p> <p style="text-align: right;">} 水・緑・光の回廊</p>			
	<p>< 福祉系 > 高齢者・保育施設の整備 子育て交流スペースの確保</p>			
	<p>< 文化系 > 美術館、スポーツジム、学習塾の誘致</p>			
	<p>< 行政サービス系 > 市役所機能の一部移転 観光協会・文化協会等の各団体の活動スペースの確保</p>			
	<p>< 住居系 > マンションの整備 高齢者向け住宅の整備</p>			
<p>< その他 > 近鉄寺田駅への急行停車</p>				

< 商業・交流複合ゾーンの模式図 >



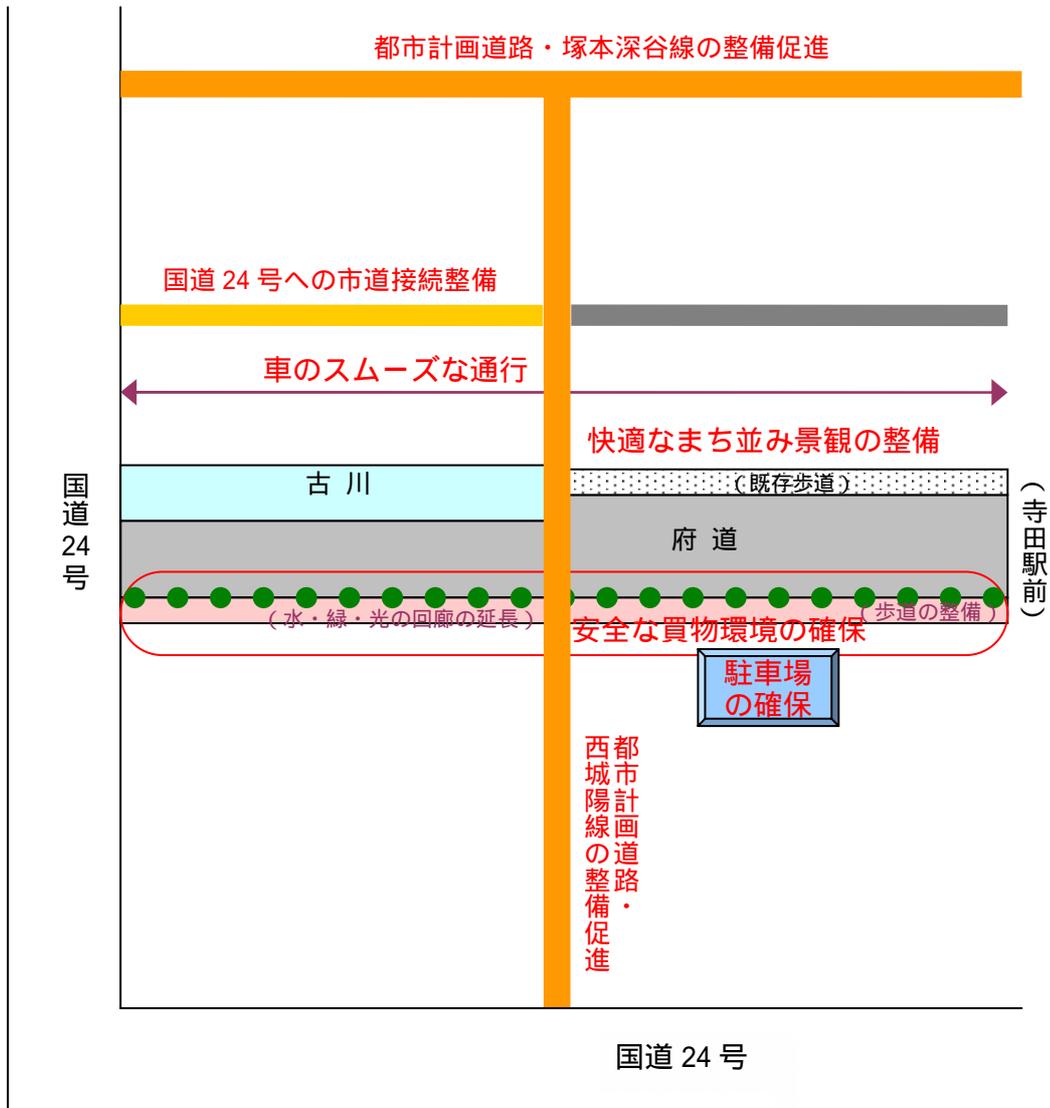
3) 沿道商業ゾーン

ゾーンの取り組み方針	来街者を気持ちよく迎える表門として、美しいゲート通り（プロムナード）の整備と景観づくりを行う 買い物しやすく、歩きたくなる快適な商業環境づくりを行う
------------	---

「必要な機能」と「取り組み内容」について

必要な機能（役割）	具体的な取り組み内容	具体的な取り組み内容を実現するために検討が必要な事項
安全な買物環境の確保	歩道の整備（特に府道南側） 歩道のカラー舗装	既存建物のセットバック 自動車路上駐車 の排除 通過交通の排除
車のスムーズな通行	府道の拡幅（国道24号～寺田駅前までの十分な道路幅員の確保） 都市計画道路等の整備促進 ・都市計画道路・塚本深谷線（東西方向）の整備促進 ・都市計画道路・西城陽線（南北方向）の整備促進 ・国道24号への市道接続整備 ・道路沿いの並木・植栽の整備	踏切等での渋滞の解消 通過交通の排除 古川の利用の検討（オープンで活かすか、暗渠にするか）
駐車・駐輪スペースの確保	駐車場の整備	
快適なまち並み景観の整備	歩道のカラー舗装 街灯の景観整備 並木・植栽の整備 } 水・緑・光の イルミネーションの整備 } 回廊の延長 看板等の景観統一 建物等の景観統一	まちづくり協定の締結 地区計画の作成

< 沿道商業ゾーンの模式図 >



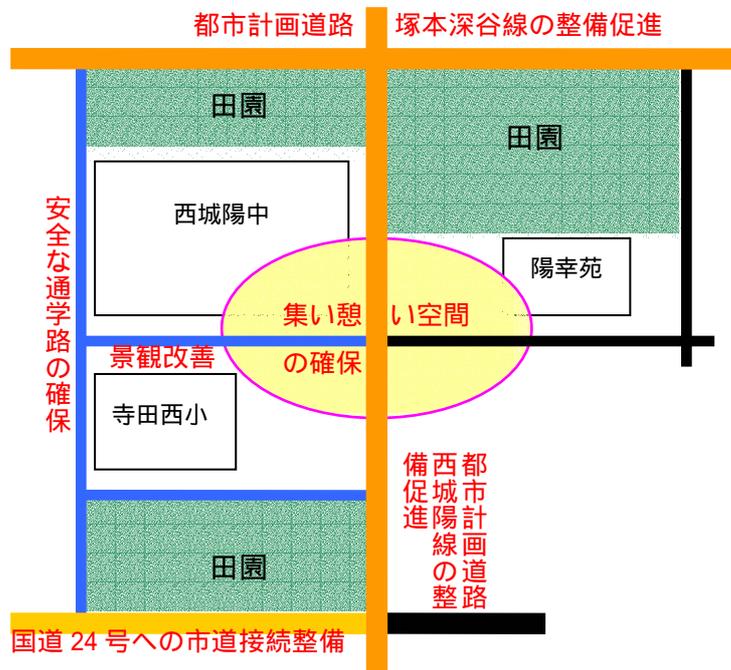
4) 教育・福祉ゾーン

ゾーンの取り組み方針	教育・文化にふれる、集い憩い空間を確保する
------------	-----------------------

「必要な機能」と「取り組み内容」について

必要な機能（役割）	具体的な取り組み内容	具体的な取り組み内容を実現するために検討が必要な事項
安全な通学路の確保	南北・東西両方向の道路整備 歩道の拡幅 ガードレールの整備	
集い憩い空間の確保	空き教室などを活用した地区集会室（集会スペース）の確保 温泉の整備による憩い空間の確保	
景観改善	並木・植栽の整備 道路の美化 田園風景の活用	

< 教育・福祉ゾーンの模式図 >



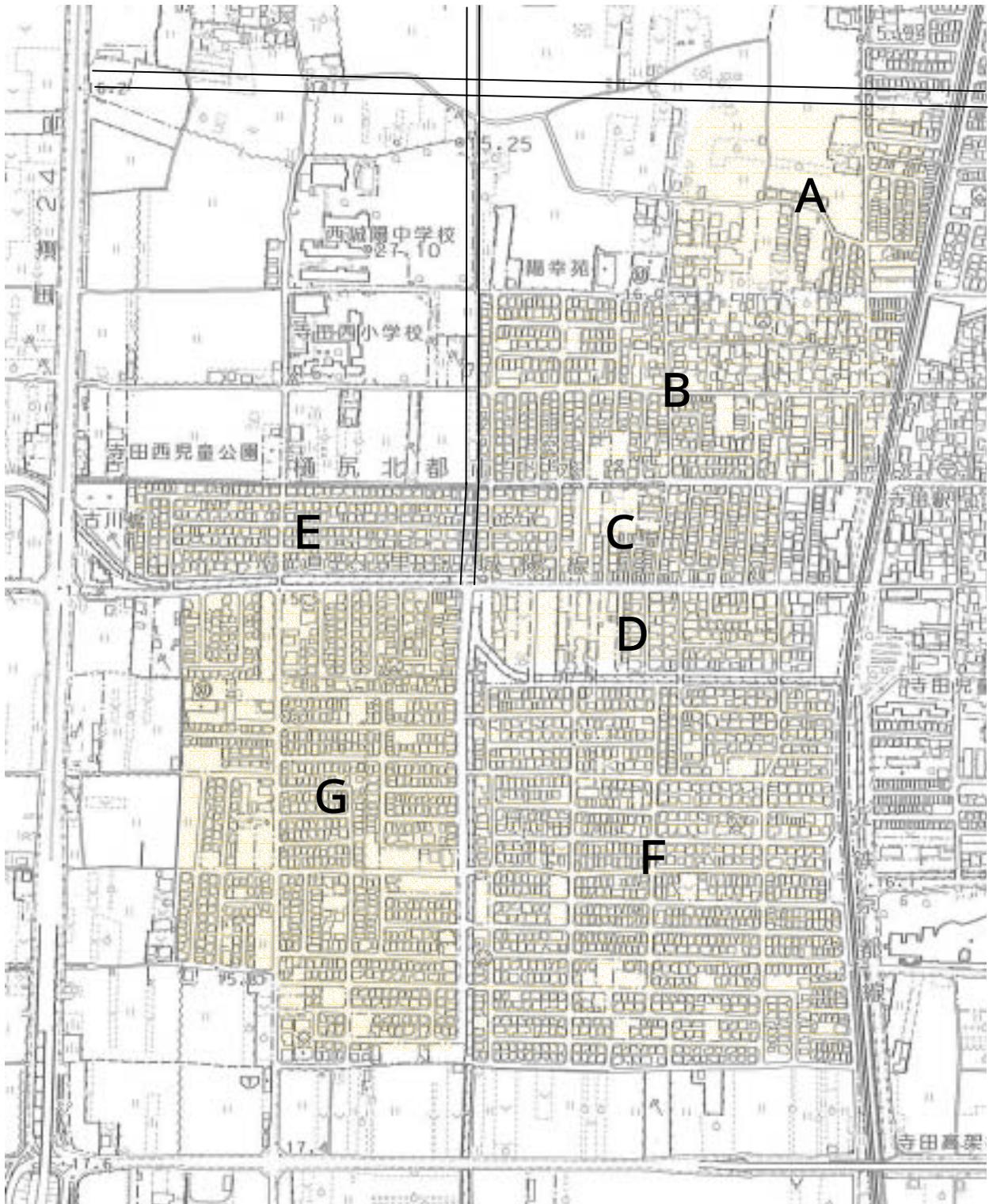
5) 居住ゾーン

ゾーンの取り組み方針	暮らしやすく、住み続けたい、“ほっとする”まちづくりを進める 安全で通りやすい道路の整備を行う 快適でうるおいのある住環境づくりを行うとともに、旧村などの由緒ある町並みを守る
------------	---

「必要な機能」と「取り組み内容」について

必要な機能(役割)	具体的な取り組み内容	具体的な取り組み内容を実現するために検討が必要な事項
安全で通りやすい道路の整備	<p><住宅地内道路></p> <p>区画道路の整備 (A)</p> <p>踏み切り周辺の道路拡幅 (B)</p> <p><都市計画道路></p> <p>都市計画道路・塚本深谷線の整備 (A)</p> <p>都市計画道路・西城陽線の整備 (B)(C)(E)</p>	鉄道との交差の方策検討
快適でうるおいのある住環境づくり	<p><住環境の改善や整備></p> <p>側溝のコンクリート蓋設置等 (A)(B)(C)(E)(F)(G)</p> <p>集会所の設置 (C)(E)</p> <p>公園等の整備 (C)(D)</p> <p>店舗と住宅の共存を図る住環境の確保 (C)</p> <p>田園風景を活用した住宅 (A)</p> <p>今池川沿いの無断駐車解消 (G)</p> <p><河川関係></p> <p>川・水路の美化・活用 (A)</p> <p>今池川沿いの歩道の整備 (G)</p>	<都市計画道路沿い>道路との緩衝帯の整備
景観に配慮したまちづくり	<p><まちの景観></p> <p>旧村の景観の保全 (B)</p> <p>店舗の看板等の景観整備 (C)</p> <p>公園周辺の景観整備 (F)</p> <p><河川関係></p> <p>古川の美化・活用 (D)(F)</p> <p>古川沿いの景観整備(植栽・並木の整備) (D)(E)(F)</p> <p>今池川の景観整備と活用 (F)(G)</p>	まちづくり協定の締結 地区計画の作成

<居住ゾーンのブロック区分図>



6) 水・緑・光の回廊

ゾーンの取り組み方針	川を活かし並木を増やして、歩いて楽しい「水と緑にあふれ光輝く回廊」のネットワークづくりを行う 交流の玄関通りとしても印象づける、魅力あふれる回廊づくりを行う
------------	---

「必要な機能」と「取り組み内容」について

必要な機能（役割）	具体的な取り組み内容	必要な対策
川の活用と親水性の確保	古川の美化・浚渫 古川沿いの景観整備 (植栽・並木の整備) 古川・今池川とも水に近づき遊べる親水性護岸の整備 水車の設置	連続性のある整備 地域や団体が連携した活動の推進 これらの機能を活かした地域の取り組み 安全性の確保
せせらぎの復活	駅前での「せせらぎが聞こえる」小川の整備 噴水・水車等の整備	
緑化空間の確保	並木道の整備 ・通りにより樹木の種類が異なる並木の連続整備	
光にふれあう空間づくり	イルミネーションを活かしたまちづくり ・イルミネーションのアーチ通りの整備 ・並木へのイルミネーションの設置(文化パーク城陽の前など) ・商店街通りでの連続したイルミネーションの設置	

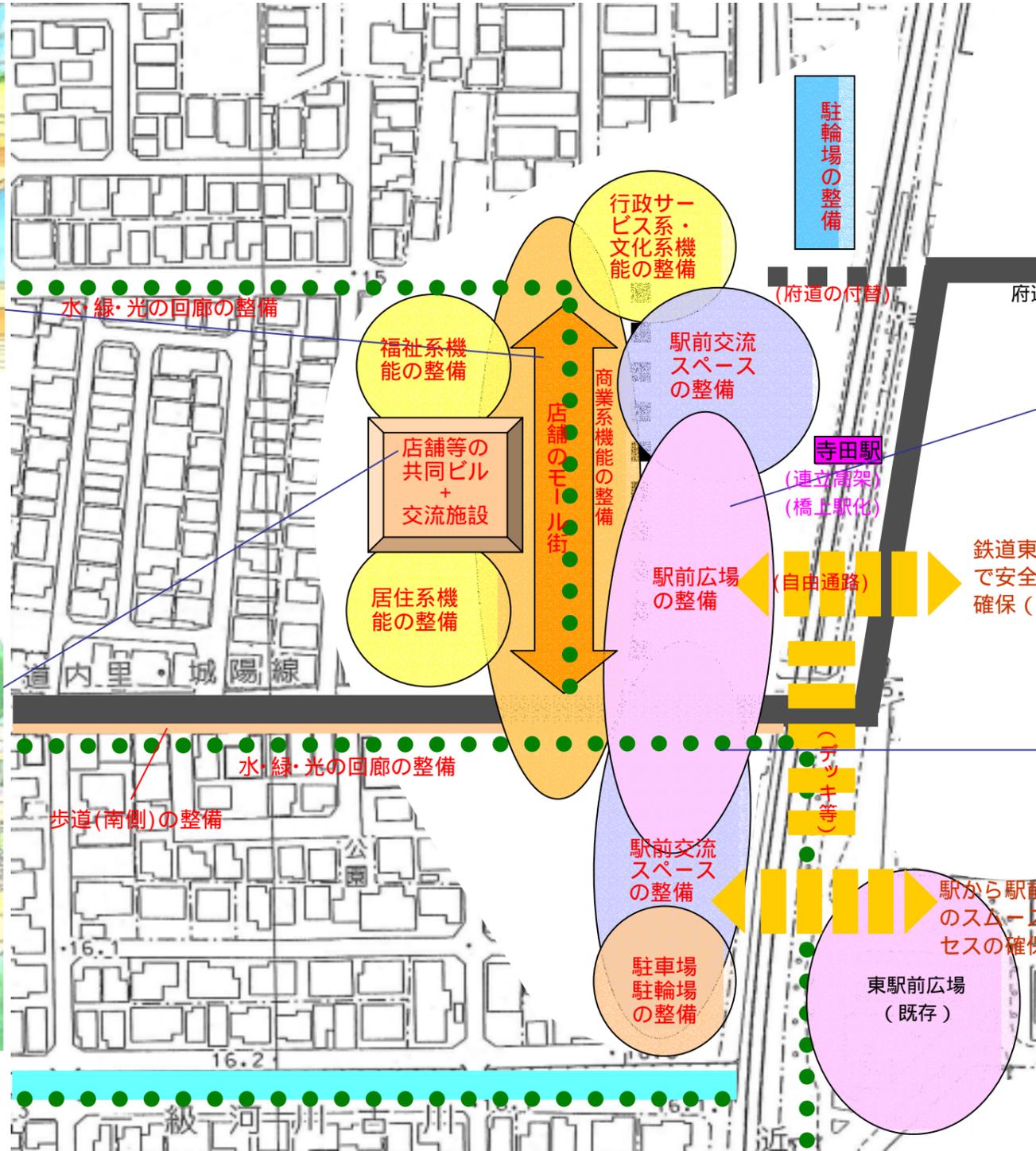
10．寺田駅前を中心としたまちづくりの整備イメージ

これまでゾーン別に述べてきた整備内容のなかでも、特に寺田駅前を中心とした「駅前交通結節ゾーン」と「商業・交流複合ゾーン」については、寺田駅周辺のまちづくりの‘核’として優先的に整備に取り組むべきゾーンと言えます。

そのため、城陽市の玄関口としてふさわしい‘顔’づくりができるよう、その整備イメージを次ページに示します。(ただし、イメージスケッチ図は、おおむねの整備イメージを表したものです。)

寺田駅前を中心としたまちづくり構想（整備イメージ図）

注) イメージスケッチ図は、おおむねの整備イメージを表したものです。



11．提言内容の実現に向けて

以上の提言内容を実現していくにあたり、関連して行政および関係機関等に並行して取り組んでいただきたい事項は、以下のとおりです。行政および関係機関等において積極的に推進されることを要望します。

用途地域の変更および高さ制限の緩和

用地確保のための手法の検討

都市計画道路・塚本深谷線（東西方向）と西城陽線（南北方向）の整備促進

寺田駅での急行停車の実現促進

近鉄の連続立体交差事業の促進

景観条例の制定

これから

以上の提言をまとめた「寺田駅前まちづくり協議会」の会員からの、まちづくりの“これから”に向けての思いを最後に紹介します。

昨年末から近鉄寺田 1 号線踏切拡幅工事に伴い、近鉄変電所の取り壊し、周辺整備が進められ、住民の方々はやっと寺田駅前まちづくりが動き始めたとの声が寄せられています。

我々「寺田駅前まちづくり協議会」がまとめた提言書を市民の皆様の目に見る形にして頂きたい。

やっと動き始めたとの市民感覚の芽を摘み取る事なく提言書を基にぜひ実現させて頂きたい。

ここが、寺田や城陽の顔やというまちにしたい。

一般の方及び会員がもっと寺田の駅前をどうしたらいいか全体の構想をだして考えたい。

城陽 八幡間の道路、第二名神ができることを考えたら、城陽 宇治田原はいつかできます。そのときに一緒に近鉄高架化を同時に考えてほしい。

城陽の中心は近鉄寺田駅です。

寺田駅周辺は、道路が狭いですが、街路樹を植え、緑を多くした街並になればなあ…。

寺田駅南側踏み切りは、歩行者と分かれたので、交通的には若干安全になりましたが、南北の横断に支障が出ています。高架なりの回廊を考えてほしい。



まちづくりの啓発看板を寺田駅横の土地に設置（平成 17 年 2 月 13 日除幕式）

町づくりを通じて…まち・人・共存

寺田周辺を、他都市や他地域のような大規模な開発で住環境を変えと言う大げさなことでもなく、近代的な施設で無く、逆にこの町〈てらだ地域〉にとって、らしさの残る“まちづくり”を創れないものかを考えた時、最小限一部の建築物と道路の改良（付け替え）や用途地域の変更見直し等により、新しい空間とロータリー（広場）を確保、又現在の施設を生かした緑のモデルゾーン、点と線で結ぶゾーニング群の構築、例えば増々の高齢化社会に対応すべく安全で安心、利便性、医療や養護施設の集積化、街の活性化の為に商業施設の改善や商店街群面構築化（アーケードやイルミネーション、ベンチ等の明るい舗装）、自然・水・古川を再生（噴水や希望の多い水車、公園（広場）の緑地化）又、古い町並み（尺後や中大小）や田園の整備（あらすのや市街化調整区域の見直し）など…。

全て公の手でリフォームするのではなく、民間は民間で発展、活発で魅力有る街なら投資する企業も出て来るであろう。その為にも、より極め細かい地区計画を推進して頂けるよう、住民参加型の提案が出来たように思います。

“ゾーニング”とは都市計画で区域ごとに建物用途を制限する法であるが、当地では、職住居一体型の為、現況を活かす手法で考え、今後は出来るだけ都市計画に近い形の準ゾーニング群と言う同種が集合した形に緩和した方が良く、寺田の小さい地域では充分と思われれます。

今迄、一部の人達だけの地道な活動にようやく光が見えて来るのであろうか。ここに行政の後押しが見えて来ると大きな弾みになる。

まちづくり振興で街が良くなる事は、住民にとってまことに有難い。大きな視点で発展の歩みにつながって行くのが見えて来るのは、とてもうれしく有難い。

むつかしくなるのはこれからだと思うが、希望の明かりが点もるのは生きがいにつながる。

踏切内の歩道の拡幅と歩道の設置、大変利用価値があり、ありがとうございます。

未来（近い将来）に向け、活気のある町づくりが、これから住む方（若い方を多く）、現在住まれている方の為になると思います。よろしくお願いします。



寺田駅西口に「ほっこりゾーン」を整備(平成 17 年 11 月)